

平成29年度補正予算 平成30年度通常予算 省エネ補助金 一覧

作成：ゼロエネルギー支援

予算	29年度補正予算	30年度通常予算						
	省庁	経産省			国交省	環境省		
補助金名	省エネルギー設備の導入・運用改善による 中小企業の生産性革命促進事業	エネルギー使用合理化等事業者支援（エネ合）		ネット・ゼロ・エネルギー・ビル （ZEB）	既存建築物省エネ改修等推進事業	業務用施設等における省CO2促進事業 既存建築物の省CO2改修支援事業 （中小規模老人福祉施設）	二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金 （CO2削減ポテンシャル診断推進事業） （低炭素機器導入事業）	
公募団体	一般社団法人環境共創イニシアチブ	（エネ合Ⅰ 工場・事業場単位）	（エネ合Ⅱ 設備単位）					一般社団法人 環境共生住宅推進協議会
予算（29年度）		672.6億円			約100億円	約20億円程度		
予算（30年度）	78億円	600.4億円 エネ合Ⅰ（工場・事業所単位）エネ合Ⅱ（設備単位）BEB、ZEH、省エネリフォームを含む			約100億円			
補助対象 （既設・新設）	既設	既設	既設	既築・新築	既築	福祉施設他（既築）	新設・既設	
補助対象費用	設備費（見える化装置含む）	設備費・工事費	設備費のみ	設計費・設備費・工事費	設備費・工事費	設備費・工事費	設備費・工事費	
補助率	1/3	1/3	1/3	2/3以内	1/3	1/3	1/3 （中小企業は原則として1/2）	
補助金額	補助金上限3,000万円 補助金下限30万円	補助金上限：20億円 補助金下限：100万円	補助金上限：1.5億円 補助金下限：50万円	補助金上限：5億円 （複数年度：10億円）	補助金上限：5000万円	補助事業車が必要と認められた額	補助金上限：3000万円 （LED照明導入は1500万円）	
申請条件	工場・事業場等における既存の設備を、 省エネルギー性能の高い設備（省エネ型 設備）とエネルギー使用量等を計測・蓄 積する装置（見える化装置）に更新する 事業を補助対象とします。	トップランナー制度対象設備は基準をクリア 省エネ率：1%以上 （エネマネ事業：10%以上） 省エネ量：1000kI以上 費用対効果：200kI/千万円以上 エネルギー消費原単位改善：1%以上 ピーク削減効果：5%以上 （エネマネ事業：50%以上） エネマに事業はエネマネ事業者と契約	設備単位ごとに補助対象設備の範囲、 基準値をクリアすること。	省エネ率50%以上 BEMS導入 ZEBプランナーを新たに募集 一部施設は関与を必須とする	省エネ率：15%以上 躯体の省エネ改修必須 エネルギー計測装置設置	施設全体のCO2排出量 5%以上削減 LED照明のみの申請は不可 直管形LED照明は補助対象外 空調等他の改修事業と組合せること ルームエアコンも補助対象内	CO2削減ポテンシャル診断事業を受診 が条件 年間CO2排出量が50～3,000トン未 満の事業所を対象に、診断の提案に基 づいた低炭素機器の導入や運用改善等 の対策を実施することで、CO2の年間 排出量を10%以上（中小企業以外は 20%以上）削減。	
対象設備	<省エネ設備> 高効率照明/高効率空調/産業ヒートポン プ/業務用給湯器/高性能ボイラ/高 効率コージェネレーション/低酸素工業 炉/冷凍冷蔵庫/産業用モータ	<省エネ設備> 省エネに寄与する設備・システム EMS設備・システム	<省エネ設備> 高効率照明/高効率空調/産業ヒート ポンプ/業務用給湯器/高性能ボ イラ/低炭素工業炉/変圧器/冷凍 冷蔵庫/FEMS	ZEB実現に寄与する 高性能建材（断熱材、複層ガラ ス）空調、給湯、換気、照明、太 陽熱、蓄電システム、受変電シ ステム、BEMS装置等で構成するシ ステム・機器	屋根・外壁等（断熱）、開口部（複 層ガラス、二重サッシ等）、日射遮 蔽（庇、ルーバー等）等の構造躯体 （外皮）パリアフリー改修 空調、照明、給湯、昇降機	空調、給湯、照明設備等の エネルギーを消費し 低炭素化を推進する設備	CO2排出抑制のための低炭素機器 既設設備（機器）・システムの置換え 新設の太陽光、風力などの再生エネ発 電（ただし、自家消費する場合に限 る）	
29年度 1次募集		5月25日～6月26日			4月10日～5月26日	4月24日～6月2日	5月	5月1日～5月31日
29年度 2次募集		なし	なし	6月12日～7月14日	2次公募：9月/3次公募：11月	7月初旬	8月1日～8月31日	
30年度	3月下旬							